

(1面から続く)
験した鬼ごっこは、くねる向きを変えるなど、複雑な動きが要求されます。このため、体育の授業に鬼ごっこを取り入れた小学校では、体力テスト結果の改善が報告されています。また、国が平成20年度に開発する運動能力向上に向けたプログラムの結果を踏まえ、東京都や関係スポーツ団体と連携を取りながら、子どもを運動ぎらいにさせないプログラムを作成することが求められます。

●学校施設のさらなる活用と支援
子どもの自発性を引き出すには、「やる気になる」また遊ぶ「うまくなる」体力が向上する」という好循環が生まれ、遊びの絶対量を増やすことが必要です。外遊びの活用や身体づくりプログラムを開発するとともに、実践場所として小・中学校のグラウンドや体育館を活用し、放課後や週末に運動やスポーツが行えるようにすることが大切です。

成人のスポーツ
振興の具体例

●新たな動機付けに力を入れる
身体機能の低下を予防するには、成人が心機一転してスポーツに取り組む気持ちが必要です。健康診断、介護予防調査、スポーツ団体が行う体力テストなどの動機付けの段階で、施策に工夫や連携が求められています。そのためには、個人で管理するスポーツ・健康メモなどを内容とした「仮称」スポーツ・健康手帳を作成し、それに個人のデ

ータ等を記載するなどの施策が有効です。

●体力分析計画参加のの流れをつくる
成人が体力テストや健康診断などで体力低下の不安を感じた際、気軽に取り組めるスポーツメニューや機会が用意されていると、スポーツへの取り組みが加速されやすくなります。体力テストなどの終了後に個別に相談に乗り、個別のメニュー作りを支援する事業所を紹介するなど、新たにスポーツに取り組み誘導策をシステム化し、支援する組織と連携して実施することが求められます。

●世代を超えた楽しいプログラムの開発・普及
体を動かすことの楽しさを発見できることが、スポーツを行う意義であると考えられる成人も少なくない。で、楽しさや爽快感を体感できるスポーツイベントやニューズスポーツ等の普及が重要となつてきます。体を動かすことによって自分に合ったスポーツを見つけ、日常的に体を動かし、体力向上につながるプログラムの開発・普及に努める必要があります。

●「歩く運動」の推奨
「歩く運動は手軽に取り組めるため、あらゆる世代に共通する運動の第一歩です。市の緑と水辺の環境を有効に利用した黒目川・落合川沿いの散歩などは身近で手軽にできる歩く運動の一つです。

市ではこの提言を受け、今後スポーツ(運動)の重要性を市民に広め、事業の充実を図り、本市にふさわしいスポーツ振興を進めることができるよう努めていきます。

SSW (School Social Worker)

スクールソーシャルワーカーが
学校を巡回します

公立学校では、これまでスクールカウンセラー、特別支援教育コーディネーターの設置など、都道府県レベルで独自の制度を導入し、子どもたちの課題解決を図ってきました。さらに、児童虐待など時代を反映した比較的新しい問題への対応として、「スクールソーシャルワーカー」(SSW)の制度が考えられました。
「スクールソーシャルワーカー」とは、児童・生徒が起す問題行動等の背景には、心の問題とともに家庭・友人・地域・学校等で児童・生徒が置かれている環境の問題が複雑に絡み合っていることが考えられます。
「スクールソーシャルワーカー」は、教育分野に関する知識に加え、社会福祉等の専門的な知識や技術を用いて児童・生徒が置かれている環境に働きかけ、関係機関とのネットワークを活用し、問題を抱える児童

人権尊重
月間の取り組み

市教育委員会では、毎年11月初旬から12月初旬までの1カ月間を「人権尊重推進月間」として定め、学校における人権教育が一層充実するよう、今年度も児童・生徒の作品を募集しました。応募件数は市立小・中学校から3545点あり、市民のつどい」において、次の皆さんが表彰されました。(敬称略)。

- ◎ポスター部門
市長賞：第二小学校2年 萩原 葉
教育賞：西中学校1年・陸田沙友里
西中学校1年・片居木真奈
子西中学校1年・安藤万衣子
西中学校1年・雨宮千花子
下里中学校2年・勝田誠矢

- ◎標語部門
市長賞：大門中学校1年 吉良 萌
教育賞：第八小学校5年・杉本 大樹
小山小学校6年・川田雅博
久留米中学校1年・寺田久留美
東中学校2年・樋

- ◎作文部門
市長賞：中央中学校3年 佐藤綾加
教育賞：第二小学校3年・宮下 薫
神宝小学校4年・荒牧真理
西中学校2年・王嘉寧
下里中学校2年・高橋健太
中央中学校3年・三上雅子
詳しくは指導室 ☎470・7781へ。

平成21・22年度小学校教科用図書、平成21年度小中学校特別支援学級教科用図書が決まる!

平成20年8月19日に開催された「第8回教育委員会定例会」において、平成21年度から22年度まで、東久留米市立の小学校で使用する教科用図書の採択が行われ、審議の結果、教育委員の投票により、以下のとおり決定しました。
国語…「新編 新しい国語」(東京書籍)
▼書写…「書写」(光村図書)
▼社会…「新編 新しい社会」(東京書籍)
▼地図…「楽しく学ぶ 小学生の地図帳4・5・6年初訂版」(帝国書院)
▼算数…「みんなと学ぶ 小学校算数」(学校図書)
▼理科…「新編 新しい理科」(東京書籍)
▼生活…「わくわく せいかつ上 いきいきせいかつ下」(啓林館)
▼音楽…「小学校の音楽」(教育芸術社)
▼図画工作…「新編 新しい図画工作」(東京書籍)
▼家庭…「新編 新しい家庭 5・6」(東京書籍)
▼体育(保健)…「新・みんなのほけん3・4年 新・みんなの保健5・6年」
詳しくは指導室 ☎470・7781へ。

委員を委嘱

社会教育委員は社会教育法および市条例に基づき、市の社会教育の振興を図るために委嘱されています。第22期社会教育委員の任期満了に伴い、23期委員を委嘱しました。任期は、平成20年9月1日から22年8月31日までです。(敬称略)。

【学校教育関係者】細谷さゆり(下里小学校長)
【実施日】2月21日(土)午前9時30分開会(受付は午前9時から)
【場所】市スポーツセンター1【対象】市内在住・在勤の方【部門】未就学児の部、小学1・2年生の部、小学3・4年生の部、小学5・6年生の部、一般男子の部、一般女子の部

【実施日】2月21日(土)午前9時30分開会(受付は午前9時から)
【場所】市スポーツセンター1【対象】市内在住・在勤の方【部門】未就学児の部、小学1・2年生の部、小学3・4年生の部、小学5・6年生の部、一般男子の部、一般女子の部

催し

平成21年成人式
20歳を迎えた新成人を激励し、お祝いする「成人の日」のつどいを「成人の日」に当たる1月12日(祝)に、中央公民館で開催します。対象は昭和63年4月2日(平成元年4月1日生まれ)の方で、1195人です。楽しいイベントもありますので、奮ってご参加を。
詳しくは生涯学習課生涯学習係 ☎470・7784へ。

多摩郷土誌フェア

多摩地域の各市町村教育委員会等が発行している郷土史や文化財・自然関係の刊行物が一堂に集まる「多摩郷土誌フェア」が、今年も開催されます。
【日程】1月23日(金)10時~午後7時(最終日は午後5時まで)【会場】パークアベニュー3階 オリオン書房ソルテ店(立川市曙町2の42の1)【交通】JR「立川駅」北口から徒歩3分、多摩都市モノレール「立川北駅」前【主催】東京都社会教育課長会文化財部会
詳しくは生涯学習課文化財係(郷土資料室) ☎472・0051へ。

ご報告とおわび

昨年の6月から8月にかけて、第四小学校・第七小学校・久留米中学校・東中学校において、プールへ注水していることを忘れる、排水栓を閉め忘れるなどにより、プールの水を流出させるという事故が発生しました。教育委員会ではこの損失額の一部を各校の校長等に請求しました。市立小・中学校においてこのような事故等が発生したことにより、市民の皆様にご迷惑とご心配をおかけし、誠に申し訳ございませんでした。
今後はこのようなことがないよう教育委員会として気持ちを引き締め、各学校に対して改めて指導していきます。

中部地域(第八小学校)の
学校再編成の状況をお知らせします

昨年9月に開催された第3回市議会定例会において、「東久留米市立学校設置条例の一部を改正する条例」が可決され、第八小学校の適正化に向けての準備が、より具体的に進められることになりました。
協議に当たっては、昨年11月に「中部地域小学校統合準備設置規約」が制定され、第八小学校の保護者や移行受入校の保護者、地域の方などを構成員とする「統合準備会」が主体となり、第八小学校の閉校に関すること、移行受入校に関することなどを話し合っています。
市教育委員会では今後とも地域と連携し、円滑な閉校に向けて事務を進めていきますので、ご理解とご協力をお願いします。
詳しくは学校適正化等担当 ☎470・7785へ。

市立幼稚園のピアノをご活用ください!

平成21年3月末で閉園する市立幼稚園のピアノ(アップライト)を、活用していただける方に差し上げます。なお、運搬等にかかる諸経費は各自でご負担願います。
【メーカー・品番】カワイBL12…3台カワイBL51…3台カワイBL31…2台カワイKU10…1台カワイKU2B…1台カワイKU2D…1台
製造年月日等詳しくは総務課経理係 ☎470・7775へ。



幼稚園卒園式